

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-6-2 日本ビル
株式会社 ルネサス テクノロジ
問合せ窓口 E-mail: support_apl@renesas.com

製品分類	MPU&MCU	発行番号	TN-16C-136A/JA	Rev.	第1版
題名	M30245 グループ I ² C バスインタフェース機能に関する注意事項およびドキュメント訂正		情報分類	ドキュメント訂正追加等	
適用製品	M30245 グループ	対象ロット等	関連資料	M30245 グループ データシート Rev.1.40 (RJJ03B0006-0140Z)	

1. 注意事項

I²CバスインタフェースモードにおけるSDAi端子、SCLi端子は次のように動作します。

■SDAi端子 (P74/SDA3、P70/SDA2、P67/SDA1、P63/SDA0)

対応するポート方向レジスタの設定に関わらずSDAi信号を出力

■SCLi端子 (P75/SCL3、P71/SCL2、P66/SCL1、P62/SCL0)

1) 外部クロックを使用しない場合(マスターモード)

対応するポート方向レジスタの設定に関わらずSCLi信号を出力

2) 外部クロックを使用する場合(スレーブモード)

対応するポート方向レジスタに従って入出力ポートとして機能(注1)

(注1) ポート方向レジスタで出力ポートに設定され、かつポートレジスタの内容が"0"の場合、SCLi端子から"L"が出力されるためI²C通信ができません。ポート方向レジスタを入力に設定するか、または出力に設定して"1"を出力してください。

2. ドキュメントの訂正

上記注意事項にともない、M30245グループ データシートRev. 1.40について下記の訂正があります。

(1) 151/279ページ 4行目

【誤】 I²Cバスを使用する場合、機能選択レジスタにてSCLi、SDAiを出力に設定してください。

【正】 I²Cバスをスレーブモードで使用する場合、SCLi端子は対応するポート方向レジスタを入力に設定するか、または出力に設定して"1"を出力してください。

(2) 151/279ページ 表1.19.1 I²Cモード時の各機能 [P62, P66, P71, P75のリード・I²Cモード (IICM=1)]

【誤】 方向レジスタの値に関係なく端子をリードする。

【正】 外部クロックを使用しない場合 (マスターモード) : 方向レジスタの値に関係なく端子をリードする。
外部クロックを使用する場合 (スレーブモード) : 方向レジスタが"0"の場合に端子をリードする。

(3) 152/279ページ 図1.19.1 I²Cモード機能ブロック図 (UARTi : I=0~3)

【誤】 注1. IICMビットが"1"の場合は、PD6_2、PD6_6、PD7_1、PD7_5ビットが"1" (出力モード) であっても、端子が読めます。

【正】注1. IICMビットが”1”の場合、マスタモードでは、PD6_2、PD6_6、PD7_1、PD7_5ビットが”1”（出力モード）であっても端子が読めます。

(4) 152/279ページ 7行目

【誤】ポート(SCLi)は、ポート方向レジスタの内容にかかわらず、端子のレベルが読み出せるようになります。

【正】外部クロックを使用しない場合（マスタモード）、ポート(SCLi)は、ポート方向レジスタの内容にかかわらず、端子のレベルが読み出せるようになります。

以上